

政党より県民第一。

光輝け

千葉・日本一。

(マニフェスト)

元気モリモリ、千葉を日本一にしよう会

森田健作

◆ 教育日本一

強く美しく元気な心を育てます！

最近では悲惨な事件があとを絶ちません。日本人の心、**道徳心**が、どこかおかしくなっています。**学級崩壊**のみならず、**家庭内殺人・無差別殺人**など、これまでの常識では考えられないような**事件が頻発**しています。

それらの元をたどれば、家庭や学校において、人格形成の基礎をなす**道徳教育**や**躰教育**が十分ではなかったことが**大きな要因**です。

そこで千葉県では、**教育再生諮問会議（仮称）**を設置して県内外の**有識者の総力を結集**し、人間としての基本的な躰や常識を養うために、健全なる**郷土愛の育成**や**道徳教育の強化**に努めます。また、行き過ぎた**ジェンダーフリー（性差否定）教育**や過激な**性教育**を見直し、男女の生まれ持った違いや良さを尊重し、**家族**や**家庭**を大切に**明るく元気で生き生き**とした子供たちを育てます。

私たちを生み育ててくれた祖先や両親・先人・郷土や国に対する**感謝報恩**の心、道徳心や**公共心**を育むために、子どもたちの「**心を育てる教育**」に本気で取り組み、**強く美しい日本の心**を再生します。

<「心を育てる教育」に全力投球！>

<施策例> 高校での「道徳」を正式教科化（教科書作成、研修導入）、生活指導の強化、夢を語る進路指導改革、「親学」導入による家庭力の再生、行き過ぎたジェンダーフリー教育・過激な性教育の見直し、教育現場での**国旗掲揚・国歌斉唱の徹底化**、**日本を嫌いになるような歴史教育の見直し**、**武道や伝統文化の奨励**、**国語教育の強化**等

● 学力向上支援と私学助成を強化！

千葉県を名実ともに「**教育立県**」とするためには、**学校の教育力向上**が不可欠です。これは多くの**保護者の願い**でもあります。そのためにも、**公立と私立**がそれぞれの特色を生かしながら切磋琢磨することによって**県全体の学力向上**を図ります。

公立校の教育力や学力の向上はもちろん、私立校においては特に**私学助成**の増強をめざします。現在、千葉県の私立高校向け助成金は、**全国ワースト4位**（平成20年度）です。県内高校生全体の**約32%**が私立に通っているにもかかわらず、**県による財源措置はゼロ**なのです。これは**私立幼稚園**も同様の状況です。

その中でも、多くの**私立校**は大変な努力を行い、**首都圏で最も低い入学金・授業料**を維持し、学力でも**全国的に高い水準**を誇っています。こうした不公平を是正するため、幼稚園から専門学校までの私学助成を**全国平均（20位以内）**までめざします。

<千葉県の私立高校向け財源措置（生徒一人当たり）>

（日本私立中学高等学校連合会・企画調査課調べ）

平成17年度	287,369円	（千葉県による財源措置 0円）
平成18年度	291,460円	（千葉県による財源措置 0円）
平成19年度	293,560円	（千葉県による財源措置 0円）
平成20年度	295,125円	（千葉県による財源措置 0円）

＜都道府県別私立高校向け財源措置（生徒一人当たり）＞

（平成 20 年度千葉県私学振興大会資料）

ワースト 1 位	埼玉県	261,890 円	（県財源措置 -33,235 円）
ワースト 2 位	大阪府	265,612 円	（県財源措置 -29,513 円）
ワースト 3 位	愛媛県	286,387 円	（県財源措置 -8,738 円）
ワースト 4 位	千葉県	295,125 円	（県財源措置 0 円）

＜首都圏私立学校生徒等納付金平均額——入学料・授業料・施設設備費＞

（平成 19 年度文部科学省調べ）

	高校	中学	小学校	幼稚園
東京都	858,067 円	889,058 円	952,575 円	412,786 円
埼玉県	802,243 円	825,571 円	784,600 円	364,940 円
神奈川県	855,803 円	928,016 円	851,451 円	431,880 円
千葉県	685,102 円	751,044 円	674,377 円	320,115 円

●教師の事務を軽減し熱意溢れる教育現場へ！

いじめや学級崩壊を防ぎ、**伸び伸びと学べる学校**。家庭崩壊を防ぎ、**明るく元気になる家族**。未来の千葉県を担う子どもたちには、「**豊かな心と確かな学力**」の両面を育む教育の改革が、今すぐ必要です。

「**教育の改革は教師の改革から**」といわれるように、**熱意に溢れた教育現場**を実現するために、人格に優れ、人間性豊かな**熱血校長・熱血教師**を増やします。

また現在、多くの教師が熱意はあるものの、能力を十分に発揮できない環境にあります。そのため、過度な負担を強いられている教師の**事務軽減**にも取り組んでいきます。

さらに、千葉県においては、現在 1 名しかいない**民間出身の校長**（首都圏最低）を積極的に採用し、その活躍を**バックアップ**して、斬新なアイデアで**学校改革・学校経営**を進めます。例えば、学校の目標や取り組みをオープンにする「**学校マニフェストの導入**」も検討します。これによって、地域住民が**学校を評価**できるようになり、また**連携や協力**もしやすくなります。地域と一体となった学校づくりのため、**学校経営の透明化**を進めます。

「**子どもを学ばせるなら千葉！**」という**ブランド**を必ずつくり上げます！

●若者主体の運営で“青春国体”へ！

子どもたちの体力低下が指摘される中、昨年行われた文部科学省の**運動能力調査**の平均で、千葉県の中学生（2 年生）が男女ともに**全国 1 位**に輝き、小学生（5 年生）も男女ともに**全国 5 位**となりました。千葉県は、参加児童生徒の**60%**が全国平均を上回るなど「**スポーツ立県**」としても有力です（平成 21 年 1 月 24 日『千葉日報』）。

そこで平成 22 年開催予定の**千葉国体**では、スポーツ立県・千葉を全国に PR できるチャンスと捉え、**若者たちのアイデア**を大胆に導入し、若者たちに**運営の主体**となってもらい新しいスタイルの国体をつくります。若者自身が**公の一大イベント**に直接的に関わることで、**郷土愛やチームスピリット**を学ぶ貴重な機会になります。

知事自らも**旗振り役**となって、**全国の若者たち**が関心を持てるような“**青春国体**”とします。積極的に**千葉県を PR**し、全国からお客さんを集めます！